

アイヌ民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2



アイヌ民族博物館

第5話 散文の物語

カツラの舟と
ハリギリの舟のけんか

収録日：1996年3月25日

資料番号：35231A

添付CD：4-1（22分04秒）

第5話 散文説話「カツラの舟とハリギリの舟のけんか」¹⁾

(ひとりの男性が語る)

アオナハ アン アウヌフ アン ヒネ
 a=onaha an a=unuhu an hine
 (私の)父 いる (私の)母 い て

父がいて母がいて

オカアン ペ ネ ヒケ
 oka=an pe ne hike
 暮らす(私) もの だっ たが

私は暮らしていました。

アオナハ ネプ ネ ヤッカ イエパカシヌ。
 a=onaha nep ne yakka i=epakasnu.
 (私の)父 何 で も (私に)教える

父は何であっても私に教えました。

ポンラム ワノ
 ponram wano
 小さいとき から

小さい頃から

5 イエパカシヌ プ ネ クス
 i=epakasnu p ne kusu
 (私に)教える もの だ から

教えられていたので

ネプ ネ ヤッカ アエアシカイ ワ
 nep ne yakka a=easkay wa
 何 で も (私)上手であっ て

何でも私は上手にできました。

キムン イラマンテ ネ ヤッカ
 kimun iramante ne yakka
 山の 獺 で も

山獺であっても

レプン イラマンテ ネ ヤッカ
 repun iramante ne yakka
 海の 獺 で も

海獺であっても

ネプ ネ ヤッカ アエアシカイ ワ
 nep ne yakka a=easkay wa
 何 で も (私)上手であっ て

何でも私は上手でした。

10 …ペ ネ ワ… ネ クス
 … pe ne wa… ne kusu
 もの であっ て だ から

…なので

アオナハ タネ ケマパセ²⁾ ヒ
 a=onaha tane kemapase hi
 (私の)父 もう 足が重い とき

父がもう足が悪くなって

オロワノ アナクネ
 orowano anakne
 それから は

からは

1 1996年3月25日、上田トシ氏宅にて収録。調査者は安田千夏。千葉伸彦氏が同席。上田トシ氏は、萱野茂編『ウウェペケレ集大成』所収「ランコ・チブ アコシニ・チブ ウ・コイキ 桂の木の舟と栓の木の舟の喧嘩」(pp.137-157)の音声聞いてこの話を覚えたと考えられる。

2 ただ単に足が重いのではなく、年を取ったというときにみられる表現である。

プイネ エキムネアン コロ
 puyne ekimne=an kor
 ひとりで 山猟に行く(私) ながら

ひとりで山猟に行つて

カムイ ネ チキ ユク ネ チキ アエアウナルラ。³
 kamuy ne ciki yuk ne ciki a=eawnarura.
 クマ で も シカ で も (私)とつて来る

クマでもシカでもとつて来ました。

15 レプナン コロ… レプン… ハル カ…
 repun=an kor… repun… haru ka…
 沖に出る(私) ながら 沖の 食糧 も

海猟に出ると

ウサ オカイ ペ アコロ ワ エカン ワ
 usa okay pe a=kor wa ek=an wa
 色々 ある もの(私)持つ て 来る(私) して

いろいろなものをとつて来る

…ペ ネ クス
 … pe ne kusu
 ものだ から

ので

ネプ アエ ルスイ カ アコン ルスイ カ
 nep a=e rusuy ka a=kor_rusuy ka
 何 (私)食べ たい も (私)持ち たい も

何を食べたいとも欲しいとも

ソモ キ ノ⁴ オカアン
 somo ki no oka=an
 しない で 暮らす(私)

思わずに暮らしていました。

20 ペ ネ ア プ… オラ…
 pe ne a p… ora…
 もの だつた が こんど

ですが

チプタアン⁵ ワ ランコ チプ カ アタ。
 cipta=an wa ranko cip ka a=ta.
 舟をつくる(私) して カツラの 舟 も (私)つくる

丸木舟を、カツラの舟をつくりました。

アユシニ チプ カ アタ ヒネ
 ayusni cip ka a=ta hine
 ハリギリの 舟 も (私)つくつて

ハリギリの舟もつくつて

トウ チプ アタ ヒネ… ペ ネ コロカ
 tu cip a=ta hine… pe ne korka
 2つの 舟 (私)つくつて もの だ けれど

2艘の舟をつくつたのですが

ランコ チプ アナクネ エアラキンネ コシネ ワ
 ranko cip anakne earkinne kosne wa
 カツラの 舟 は 本当に 軽く て

カツラの舟はとても軽いので

3 エアウナルラ e-awna-rura (を・家の中・に運ぶ)で「獲物をとつて来る」という意味になる。

4 「満足して暮らしている」というときの常套表現。

5 タ taは「～を彫る」という意味。カラ kar「～をつくる」ではない理由は、丸木舟は一本の木を削りだしてつくるため。

- 25 ランコ チプ パテク アエシタイキ⁶。
 ranko cip patek a=esitayki.
 カツラの 舟 ばかり (私)使う
 オラ アユシニ チプ アナクネ パセ ワ
 ora ayusni cip anakne pase wa
 こんど ハリギリの 舟 は 重く て
 アエイワンケ フミ ウェン ペ ネ クス
 a=eiwanke humi wen pe ne kusu
 (私)使う 感じ 悪い もの だ から
 エイタサ アユシニ チプ アナクネ
 eytasa ayusni cip anakne
 あまり ハリギリの 舟 は
 アオカ⁷ アエイワンケ カ ソモ キ ノ
 aoka a=eiwanke ka somo ki no
 私 (私)使い も しない で
- 30 アナン ペ ネ ヒケ
 an=an pe ne hike
 いる(私) もの でし たが
 オラ ランコ チプ アナクネ ポヘネ
 ora ranko cip anakne pohene
 こんど カツラの 舟 は なおさら
 コシネ プ ネ クス
 kosne p ne kusu
 軽い もの だ から
 ネウン アラパアン クス ネ ヤッカ
 neun arpa=an kusu ne yakka
 どこへ 行く(私) ために で も
 ランコ チプ パテク アエイワンケ コロ
 ranko cip patek a=eiwanke kor
 カツラの 舟 ばかり (私)使っ て
- 35 アナン ペ ネ ア プ
 an=an pe ne a p
 いる(私) もの だっ た が
 シネ アンチカラ オロワノ シリクンネ
 sine ancikar orowano sirkunne
 ある 夜 それから 暗くなる
- カツラの舟ばかりを使っていました。
 ハリギリの舟は重くて
 使い勝手が良くないので
 あまりハリギリの舟は
 使うこともせずに
 いました。
 そしてカツラの舟は
 軽いので
 どこに行くのにも
 カツラの舟ばかりを使って
 いたのですが
 ある夜、辺りが暗くなって

6 「～を投げ出す」「～を叩く」「アットウシ attus (オヒヨウの樹皮製の着物)を織る」などに使われる言葉だが、ここでは舟を使用することに対して使っている。この物語中、エイワンケ eiwanke「～を使う」が4回に対し、esitaykiも3回使っている。

7 ここにアオカ aoka がなくても文章の意味は変わらないが、「私は使わない」というのを強調したいために言ったのかも知れない。

タネ モコロクル⁸ オカアン
 tane mokorkur oka=an
 もう 眠くなる いる(私)

もう寝静まる

ラポク ネ コロ オロワノ
 rapok ne kor orowano
 する間 になると それから

頃になると

チプ フム アサ アサ ワ
 cip hum as a as a wa
 舟の 音 何度もし て

舟の音が何度もして

40 アオヤモクテ コロ アナン イケ カ… ネ クス
 a=oyamokte kor an=an _hike ka... ne kusu
 (私)不思議に思っ て いる(私) しても だ から

不思議に思ったのですが

ネイ ワ チプ エネ フミ アシ ネ ヤ カ
 ney wa cip ene humi asi ne ya ka
 どこ から 舟 こんな 音が する だ か も

どこから舟の音がするのか

アエランペウテク コロ アナン アイネ
 a=erampewtek kor an=an ayne
 (私)わからない で いる(私) うちに

わからないでいました。

…ヒ クス エイタサ ケサンチカラ
 ... hi kusu eytasa kes ancikar
 だから あまり 毎 晩

あまりにも毎晩

ネ チプ フム アシ ヒ アオヤモクテ ヒ クス
 ne cip hum as hi a=oyamokte hi kusu
 その 舟の 音がする こと (私)不思議に思う ので

舟の音がするのが不思議なので

45 シネ アンチカラ アプンノ
 sine ancikar apunno
 ある 晩 静かに

ある夜静かに

ホプニアン ヒネ… コロカ
 hopuni=an hine... korka
 起きる(私) して けれど

起き上がりました。

アオナハ エウン カ アイェ カ ソモ キ ノ
 a=onaha eun ka a=ye ka somo ki no
 (私の)父 へ も (私)言い も しない で

父には言わずに

アプンノ ホプニアン ヒネ
 apunno hopuni=an hine
 静かに 起きる(私) して

静かに起きて

オラ ソイエネアン イネ
 ora soyene=an _hine
 こんど 外に出る(私) して

外に出ました。

8 モコロクルカアン「寝静まる」[萱]。静内地方の伝承者織田ステノ氏もイコペプカ ikopepka (体験談)の中で「モコロクル エク mokorkur ek (眠気がやって来た)」のような形で使っている。

- 50 オラ ホック カネ アナン ワ
 ora hotku kane an=an wa
 こんど かがむ ながら いる(私) して
 かかがみながら
- アコロ ペタル⁹ オルン
 a=kor petaru or un
 (私)の 水汲み場 の所 に
 私たちの水汲み場まで
- アプンノ ラナン ワ インカラン アクス
 apunno ran=an wa inkar=an akusu
 静かに 下りる(私) して 見る(私) したところ
 静かに下りて見たところ
- ネア ランコ チプ アユシニ チプ
 nea ranko cip ayusni cip
 あの カツラの 舟 ハリギリの 舟
 そのカツラの舟とハリギリの舟
- トウ チプ オピッタ アイヌ アシ ヘネ キ ルウエ
 tu cip opitta aynu as hene ki ruwe
 2 舟 みんな 人間 立つ でも すること
 2艘の舟がどちらも人間が立つ
- 55 ネノ カネ オカ ワ
 neno kane oka wa
 かのように い て
 ような姿で
- オラノ ウコテレケ フム アシ
 orano ukoterke hum as
 それから 互いに跳ねる 音 する
 それから互いに跳ね上がる音がして
- …また飛ばしてる、ばあちゃん。元に戻っていいか?¹⁰
- アオヤモクテ ヒ クス
 a=oyamokte hi kusu
 (私)不思議に思う ので
 不思議に思いました。
- ペタル タ ラナン ワ インカラン コロ
 petaru ta ran=an wa inkar=an kor
 水汲み場 に 下りる(私) して 見る(私) と
 水汲み場に下りてみると
- 60 ネア アコツ チプ トウ チプ
 nea a=kor_ cip tu cip
 あの (私)の 舟 2 舟
 あの私の舟、2艘の舟が
- オピッタ アシリコテ ア ヒ ネノ カネ オカ ヒケ
 opitta a=sirkote a hi neno kane oka hike
 みんな (人)つない だ 時 のまま で い たのに
 つないだ時のままでありました。
- オラ マク ネ ワ ネ ヤ シリクンネ
 ora mak ne wa ne ya sirkunne
 こんど どう して だ か 暗くなる
 そして一体どうして暗くなって

9 「水汲み場に行く道」が原意だが、水汲み場自体を指すこともある[久674]。この場合は舟がつないである水場なので、後者の意味。

10 ここでトシ氏は何かを言い忘れたと思ったらしく話が少し戻るが、特に何か忘れた部分があったようには見えない。

モコロ クル オカアン コロ
 mokor kur oka=an kor
 眠る 人 いる(私) と

寝る刻限になると

オラノ チプ フム アサ アサ ヒ
 orano cip hum as a as a hi
 それから 舟の 音 何度もする こと

舟の音が何度もするのかわ

65 アオヤモクテ ヒ クス
 a=oyamokte hi kusu
 (私)不思議に思う ので

不思議に思っていたのでした。

オラ アプンノ シネ アンチカッ タ
 ora apunno sine ancikar_ ta
 こんど 静かに ある 夜 に

静かにある夜

ホプニアン イネ
 hopuni=an _hine
 起きる(私) して

起き上がって

ホック カネ アナン ワ レイエレイエアン コロ
 hotku kane an=an wa reyereye=an kor
 かがみ ながら いる(私) して 這う(私) ながら

かがんで這って行きました。

アコロ ペタル タ ラナン ルウエ ネ アクス
 a=kor petaru ta ran=an ruwe ne akusu
 (私)の 水汲み場 に 下りる(私) こと であつ たところ

水汲み場に下りて行くと

70 ネア ランコ チプ アユシニ チプ
 nea ranko cip ayusni cip
 あの カツラの 舟 ハリギリの 舟

あのカツラの舟とハリギリの舟が

アイヌ アシ ルウエ ネノ カネ アシネ
 aynu as ruwe neno kane as _hine
 人間 立つ こと かのよう に 立っ て

人間が立つようにして立って

オラノ ウコテレケ フム ネ アヌ。
 orano ukoterke hum ne a=nu.
 それから 互いに跳ねる 音 として (私)聞く

互いに跳ね上がる音を聞きました。

ネ アン ヒ ネノ ウコテレケ フム
 ne an hi neno ukoterke hum
 そう である こと かのよう に 互いに跳ねる 音

そのように互いに跳ね上がる音が

ウコリムノリムノ¹¹ アラキツキク フム シリキ
 ukorimnorimno arkikkik hum sirki
 互いにドシンドシんと ひどく殴り合う 音 様子がある

ドシンドシんとして殴り合う音がして

75 …なんったらいいんだ。

フム ネ アアヌ… ネ ヤ オラ
 hum ne a=anu... ne ya ora
 音 として (私)聞く で も こんど

音を聞いて

11 リム rim は「ドシン」という地鳴りのような音を表した言葉。

- イヨクンヌレアン コロ
iyokunnure=an kor
驚きあきれる(私) ながら
- オラ ホシピアン ヒネ
ora hosipi=an hine
こんど 帰る(私) して
- オラ ホツケアン ルウエ ネ アクス
ora hotke=an ruwe ne akusu
こんど 眠る(私) こと であったところ
- 80 モコラン アクス
mokor=an akusu
眠る(私) たところ
- ネ エアンチカラ ウェンタラパン ルウエ ネ アクス
ne eancikar wentarap=an ruwe ne akusu
その 夜 夢を見る(私) こと であったところ
- クンネ コソソテ¹² ウトムチウレ
kunne kosonte utomciwre
黒い 上等な着物 を身につける
- カムイ ネ クス コラチ アン メノコ
kamuy ne kusu koraci an menoko
神 だ から らしく いる 女性
- アペエトク タ アニネ
apeetok ta an_hine
横座 に いて
- 85 エネ ハウエアニ。
ene hawean_hi.
このように言った
- “タン オツカイポ イタカン チキ
“tan okkaypo itak=an ciki
これ 若い男性 話す(私) したら
- エイヌ カトウ エネ アニ。
e=inu katu ene an_hi.
(お前)聞く わけ こう いう こと
- ヘマンタ エエカラ¹³ クス
hemanta e=ekar kusu
何 (お前)する ために
- エネ アユシニ チプ エカン ルウエ アン。
ene ayusni cip e=kar_ruwe an.
こう ハリギリの 舟 (お前)作る の ですか?

12 カツラの木は黒い色を連想させる木ではないが、位が高い神はしばしば黒い上等な着物を着用する。ちなみに『ウウェペケレ集大成』に収録されている話ではこのくんだりで着物の色には特に触れていない。

13 エカラ e-kar (～で～をする)。ヘマンタ エエカラ クス hemanta e=ekar kusu は決まった言い方で「何をするために」。この場合は相手を非難する意味。

- 90 オラ アシヌマ アナクネ ランコ チプ アネ。
 ora asinuma anakne ranko cip a=ne.
 こんど 私 は カツラの 舟 (私)である
 私はカツラの舟なのです。
- ランコ アナクネ メノコ¹⁴ ネ。
 ranko anakne menoko ne.
 カツラ は 女性 である
 カツラは女性であり
- アユシニ アナクネ オツカヨ ネ ルウエ ネ ア プ
 ayusni anakne okkayo ne ruwe ne a p
 ハリギリ は 男 な の だ っ た が
 ハリギリは男なのですが
- オラノ ランコ チプ コシネ プ ネ クス
 orano ranko cip kosne p ne kusu
 こんど カツラの 舟 軽い もの だ から
 カツラの舟が軽いので
- イエシタイキ ワ
 i=esitayki wa
 (私に)使う して
 私を使って
- 95 ランコ チプ パテク エエイワンケ ヒ
 ranko cip patek e=eiwanke hi
 カツラの 舟 ばかり (お前)使う こと
 カツラの舟ばかりをあなたが使うのを
- アユシニ チプ イルシカ ヒネ
 ayusni cip iruska hine
 ハリギリの 舟 怒っ て
 ハリギリの舟が怒ったのです。
- オラノ アユシニ パクノ ウエン ケウテム コロ ペ
 orano ayusni pakno wen kewtem kor pe
 それから ハリギリ くらい 悪い 心 を持つ もの
 そしてハリギリくらい悪い心を持つものは
- イサム チクニ ネ ルウエ ネ。
 isam cikuni ne ruwe ne.
 いない 木 な の です
 ない木なのですよ。
- ヘマンタ エエカラ クス
 hemanta e=ekar kusu
 何 (お前)する ために
 あなたは何のために
- 100 エネ チプ エカラ ワ オラ ネ ワ アン ペ
 ene cip e=kar wa ora ne wa an pe
 こんな 舟 (お前)作って こんど そうで ある もの
 このように舟をつくり、そのことで
- イコヌコシネ ワ オラノ… クス
 i=konukosne wa orano... kusu
 (私を)憎ん で こんど なので
 私が憎まれたために
- ケサンチカラ ウコテレケアン フミ エヌ ヒネ
 kes ancikar ukoterke=an humi e=nu hine
 毎 晩 互いに跳ねる(私) 音 (お前)聞いて
 毎晩互いに跳ね回る音をあなたは聞いたのです。

14 樹木の雌雄に関してアイヌ文化の中で決まりがあるわけではないが、カツラは女神として描かれた話がいくつかある。

- オラ ランコ アネ。
ora ranko a=ne.
こんど カツラ (私)である。
- アユシニ アナクネ オツカヨ ネ プ ネ クス
ayusni anakne okkayo ne p ne kusu
ハリギリ は 男 な の だ から
- 105 タネ タネ アエマケタ¹⁵ ワ… クス
tane tane a=emaketa wa… kusu
もう もう (私)負ける して ので
- ネ ヤッカ ナ ネン ネン イキアン アイネ
ne yakka na nen nen iki=an ayne
で も まだ いろいろ する(私) うちに
- ランコ メノコ アネ ア コロカ
ranko menoko a=ne a korka
カツラの 女性 (私)だっ た けれど
- アユシニ チプ アエシタイキ ルウエ ネ クス
ayusni cip a=esitayki ruwe ne kusu
ハリギリの 舟 (私)使う こと だ から
- ネ ランコ… アシヌマ アナクネ
ne ranko… asinuma anakne
その カツラ 私 は
- 110 ランコ アネ イネ
ranko a=ne _hine
カツラ (私)であって
- アユシニ チプ アナクネ
ayusni cip anakne
ハリギリの 舟 は
- ウェン ケウトウム コロ ペ ネ クス
wen kewtum kor pe ne kusu
悪い 心 を持つ もの だ から
- ネノ エアヌ ヤカナクネ¹⁶
nenno e=anu yakanakne
同じに (お前)置く もしもしたら
- エコタヌ ウオマ¹⁷ クニ アラム カ
e=kotanu uoma kuni a=ramu ka
(お前の)村 無事 と (私)思う も
- 115 ソモ キ ナ。
somo ki na.
しない よ
- 私はカツラ、女性なのです。
- ハリギリは男であるために
- 今はもう負けてしまったのです。
- それであってはどうにかして
- カツラの女が私であるけれど
- ハリギリの舟を人が使うので
- そのカツラ…私は
- カツラであり
- ハリギリの舟は
- 悪い心を持っているので
- このまま置いておくと
- あなたの村が無事であるとも
- 思えないのですよ。

15 エマケタ emaketa は日本語「負けた」からの移入語。マケタロ「負けた、敗れる」[萱]。逆に勝つことはカッタロと言う。

16 静内地方ではアカナクネ akanakne「もしも～したら」[奥]。

17 ウオマ「揃う」[萱]。「村人が全員そろっている」の意か。

ニサッタ ネ アン チキ
 nisatta ne an ciki
 明日 に なっ たら

明日になったら

ネ ランコ… アユシニ チプ エペレパペレパ
 ne ranko... ayusni cip e=perpaperpa
 その カツラ ハリギリの 舟 (お前)割る

そのハリギリの舟を壊して

エヤシパヤシパ ワ
 e=yaspayaspa wa
 (お前)裂い て

裂いて

オピッタ エウフイカ ヤク ピリカ。
 opitta e=uhuyka yak pirka.
 みんな (お前)燃やす と いい

みんな燃やしたらいいのです。

120 オラ キム タ
 ora kim ta
 こんど 山 で

そして山で

エホラクテ ワ… ア サمامニ ネ ヤツカ
 e=horakte wa... a samamni ne yakka
 (お前)倒させ た 倒木 で も

あなたが倒した倒木であっても

ネ チプ エタ コツパ¹⁸ ネ ヤツカ
 ne cip e=ta koppa ne yakka
 その 舟 (お前)彫る 木っ端 で も

舟をつくった木くずであっても

ポン コツパ ネ ヤツカ ポロ コツパ
 pon koppa ne yakka poro koppa
 小さい 木っ端 で も 大きい 木っ端

小さい木片、大きい木片

ウイペヘ ネ ヤツカ エオマレ ワ
 uypehe ne yakka e=omare wa
 くず で も (お前)入れ て

くずであっても入れて

125 オピッタ エウフイカ ヘネ キ。
 opitta e=uhuyka hene ki.
 みんな (お前)燃やす でも する

みんな燃やしなさい。

ソモ キ ヤカナクネ エコタヌ
 somo ki yakanakne e=kotanu
 そうしないと もしもしたら (お前の)村

そうしないと、あなたの村が

ウオマ クニ アラム カ ソモ キ ナ”
 uoma kuni a=ramu ka somo ki na”
 無事 と (私)思う も しない よ

無事で済むとは思えませんよ」

セコロ ウエンタラパン ルウエ ネ。
 sekor wentarap=an ruwe ne.
 と 夢を見る(私) こと である

という夢を見たのです。

18 日本語「木っ端」からの移入語。

- エアラキンネ イヨクヌレアン コロ
 earkinne iyokunnure=an kor
 本当に 驚きあきれる(私) ながら
 本当に驚いて
- 130 オラ クンネイワ ホプニアン ヒネ オラ
 ora kunneywa hopuni=an hine ora
 こんど 朝 起きる(私) して こんど
 朝起きると
- アオナ エウン
 a=ona eun
 (私の)父 に
 父に
- “ タプネ カネ ランコ チプ
 “ tapne kane ranko cip
 こういうわけで カツラの 舟
 「このようなわけで、カツラの舟
- アユシニ チプ ウコテレケ シリ
 ayusni cip ukoterke siri
 ハリギリの 舟 互いに跳ねる 様子
 ハリギリの舟が跳ね上がる様子を
- ウ克蘭 ネ アヌカラ ワ オラ ネ ランコ チプ
 ukuran ne a=nukar wa ora ne ranko cip
 昨晚 に (私)見 て こんど その カツラの 舟
 昨晚見て、そのカツラの舟が
- 135 イウエンタラプテ ヒ エネ アニ。
 i=wentarapte hi ene an _hi.
 (私に)夢を見せる こと こうであった
 私に夢を見せてこのように言いました。
- ‘ネ アユシニ チプ アナクネ ウェン ケウトウム コロ
 ‘ne ayusni cip anakne wen kewtum kor
 あの ハリギリの 舟 は 悪い 心 を持つ
 『あのハリギリの舟は悪い心を持っていて
- パクノ アシトマ チクニ イサム ペ ネ ナ。
 pakno a=sitoma cikuni isam pe ne na.
 それほど (私)恐ろしい 木 ない もの だ よ
 それほど恐ろしい木はないものなのです。
- ネウン カ エカラ ソモ キ ヤカナクネ
 neun ka e=kar somo ki yakanakne
 何 も (お前)する しない もしもならば
 何もしないでいると
- アコタヌ ウオマ クニ
 a=kotanu uoma kuni
 (お前の)村 無事 と
 あなたの村が無事で済むとは
- 140 アラム カ ソモ キ ナ’
 a=ramu ka somo ki na’
 (私)思い も しない よ
 思えないのですよ』
- セコラン ウエンタラプ アキ ルウエ ネ”
 sekor an wentarap a=ki ruwe ne”
 と いう 夢を見ること (私)する こと です
 と話す夢を見たのです」
- セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ
 と言ったところ

アオナ エアラキンネ エライキマテク
 a=ona earkinne eraykimatek
 (私の)父 本当に ひどく驚く

父は本当に驚いて

“ヤクン エネ アン イシトマアン クス
 “yakun ene an isitoma=an kusu
 ならば そんな 恐ろしい(私) ので

「ならばそのようなものは恐ろしいので

145 ホクレ ホクレ ヤクン ネ チプ
 hokure hokure yakun ne cip
 早く 早く ならば その舟

さあ早く、その舟を

エウフイカ ヤク ピリカ” セコロ
 e=uhuyka yak pirka” sekor
 (お前)燃やす と いい と

燃やしたらいい」

アオナハ イエ ヒ オラ イルシカアン ペ ネ クス
 a=onaha ye hi ora iruska=an pe ne kusu
 (私の)父 言っ てから 怒る(私) ものだ から

と父は言って怒りました。

ペトツ タ ラナン ヒネ
 pet or_ ta ran=an hine
 川 の所 に 下る(私) して

川に下りて行って

ネ アユシニ チプ ピタラ オロ ウン… タ
 ne ayusni cip pitar or un... ta
 そのハリギリの舟 河原 に

そのハリギリの舟を河原に

150 アニンパ ヒネ
 a=ninpa hine
 (私)ひきずっ て

引っ張って来て

オラ ピタラ オツ タ アヤシパヤシパ
 ora pitar or_ ta a=yaspayaspa
 こんど 河原 の所 で (私)裂く

水汲み場で切り裂いて

アペレパペレパ
 a=perpaperpa
 (私)割る

壊して

ポン コツパ ヘ ネ ヤ
 pon koppa he ne ya
 小さい 木っ端 か で も

小さい木片であっても

ポロ コツパ ヘ ネ ヤ
 poro koppa he ne ya
 大きい 木っ端 か で も

大きい木片であっても

155 オピッタ アウフイカ ルウェ ネ ヒネ オラ
 opitta a=uhuyka ruwe ne hine ora
 みんな (私)燃やす こと である そして こんど

みんな燃やしてしまいました。

オカケ アン¹⁹ イ オラ アウニ タ エカン イネ
 okake an _hi ora a=uni ta ek=an _hine 終わると私の家に帰って来ました。
 終わって から (私の)家 に 来る(私) して

アウファイ…
 a=uhuy… 燃やした…
 (私)燃やす

チプ アウファイカ オケレ ヒ アオナ エウン
 cip a=uhuyka okere hi a=ona eun 舟を燃やし終わったことを父に
 舟 (私)燃やし 終えた こと(私の)父 へ

アイェ ルウエ ネ アクス
 a=ye ruwe ne akusu 言うど
 (私)言う こと だっ たところ

160 アオナ エネ ハウエアニ。
 a=ona ene hawean _hi. 父はこのように言いました。
 (私の)父 このように 言った

“ヤクン キム タ エアラパ ワ
 “yakun kim ta e=arpa wa 「ならば山におまえは行って
 ならば 山 へ (お前)行っ て

ネ エタ チプ サマムニヒ
 ne e=ta cip samamnihi その(お前)つくる 舟 の倒木
 その (お前)つくる 舟 の倒木

ポン シンリッ ネ ヤ ルウエ シンリチ ネ ヤ
 pon sinrit ne ya ruwe sinrici ne ya 小さい根であっても大きい根であっても
 小さい 根 で も 太い 根 で も

オピッタ エプシパプシパ ワ
 opitta e=puspapuspa wa みんな(お前)掘り起こし て
 みんな (お前)掘り起こし て

165 エウファイカ ワ ネ ヤクン
 e=uhuyka wa ne yakun 燃やしてしまったならば
 (お前)燃やし て である ならば

エウファイカ オカ タ オラ
 e=uhuyka oka ta ora おまえが燃やした後で
 (お前)燃やす の後 で こんど

ネア スプヤ ヒナクン シキル ヤ
 nea supuya hinak un sikiru ya その煙がどこに向かうのか
 その 煙 どこ に 向かう か

ネ ワ アン ペ ピリカノ エヌカラ クス ネ ナ”
 ne wa an pe pirkano e=nukar kusu ne na” それをよく見るのだ
 そうで ある もの よく (お前)見る のだ よ

19 オカ アン oka an で「～が終わる」。オカケ アン okake an も同じ。

- セコロ アオナハ イェ ヒ クス
 sekor a=onaha ye hi kusu
 と (私の)父 言う ので
 と父が言うので
- 170 オラ イシムネ スイ キム タ アラパアン ヒネ
 ora isimne suy kim ta arpa=an hine
 こんど 翌日 また 山 へ 行く(私) して
 翌日また山に行つて
- ネ アタ ア チプ オカケ タ アラパアン イネ
 ne a=ta a cip okake ta arpa=an _hine
 その (私)つくる 舟 の跡 に 行く(私) して
 そのつくれた舟のところに行つて
- ネ シンリチヒ アプシパプシパ
 ne sinricihi a=puspapuspa
 その 根 (私)掘り起こす
 その根っこを掘り起こして
- ルウエ シンリツ ネ ヤ アネ シンリツ ネ ヤ
 ruwe sinrit ne ya ane sinrit ne ya
 太い 根 で も 細い 根 で も
 太い根っこも細い根っこも
- オピッタ アプシパプシパ ヒネ
 opitta a=puspapuspa hine
 みんな (私)掘り起こし て
 みんな掘り起こして
- 175 オラ アタ ア コツパ ネ ヤ ニ テケヘ ネ ヤ
 ora a=ta a koppa ne ya ni tekehe ne ya
 こんど (私)彫った 木っ端 で も 木 の枝 で も
 掘った木片でも枝でも
- オピッタ アウウエカリ²⁰ ワ オラ アウフイカ
 opitta a=uwekari wa ora a=uhuyka
 みんな (私)集め て こんど (私)燃やす
 みんな集めて燃やして
- アコムンコウフイカ ルウエ ネ ヒネ オラ
 a=komunkouhuyka ruwe ne hine ora
 (私)ごみと一緒に燃やす の だ そして こんど
 ごみと一緒に燃やしてしまいました。
- オカケ アニ オラ
 okake an_hi ora
 終わって から
 それが終わって
- ネア スプヤ ア… エ…
 nea supuya a… e…
 その 煙
 その煙を
- 180 シルワンテアン コロ アナン ルウエ ネ アクス
 siruwante=an kor an=an ruwe ne akusu
 あたりを見回す(私) ながら いる(私) こと だつ たところ
 見ていたところ
- ネア スプヤ
 nea supuya
 その 煙
 煙は

20 ウウエカリレ uwekarire 「～を集める」と言おうとしたか。

- ヘリカシ²¹ リキン ワ アラパ アイネ
 herikasi rikin wa arpa ayne
 上の方へ 上っ て 行く うちに
 上の方に昇って行って
- オラ リキン… スプヤ アトウイ カ ウン
 ora rikin... supuya atuy ka un
 こんど 上る 煙 海 の上 に
 昇った煙が海の方に
- ヘタパパ ワ アラパ シリ アヌカラ ヒ クス
 hetapapa wa arpa siri a=nukar hi kusu
 横になっ て 行く 様子 (私)見る ので
 流れて行くのを見ました。
- 185 オラ イワカン ヒネ
 ora iwak=an hine
 こんど 帰る(私) して
 そして家に帰って
- アイエ ルウエ ネ アクス
 a=ye ruwe ne akusu
 (私)言う こと だっ たところ
 そう言ったところ
- アオナハ エライキマテク コロ
 a=onaha eraykimatek kor
 (私の)父 ひどく驚き ながら
 父はひどく驚いて
- “ヤクン テ ワノ アナクネ
 “ yakun te wano anakne
 ならば これ から は
 「ならばこれからは
- イテキ²² レプン イラマンテ アナクネ
 iteki repun iramante anakne
 決して 沖 獵 は
 決して海漁に
- 190 エキ クス ネ ナ。
 e=ki kusu ne na.
 (お前)しない の だ ぞ
 行くのではない。
- イシトマアン ペ ネ ナ。
 isitoma=an pe ne na.
 恐ろしく思う(私) もの になる よ
 恐ろしいものだよ。
- レプン イラマンテ アナクネ
 repun iramante anakne
 沖 獵 は
 海獵は
- ソモ エキ プ ネ ナ”
 somo²³ e=ki p ne na”
 しない (お前)する の だ よ
 するのではないよ”
- セコロ アオナハ イエ ヒ オロワノ アナクネ
 sekor a=onaha ye hi orowano anakne
 と (私の)父 言う こと それから は
 と言いました。それから

21 ヘリカシ he-rik-asi (頭・高く・を立てる)で「上の方へ」。

22 その後に続く語や文章を禁止する副詞。

23 否定を表す副詞。動詞句の前に来ることもあるが、動詞句の後でカ ソモ キ ka somo ki (もしない)という形になることもある。

- 195 レプン イラマンテ カ アキ カ
 repun iramante ka a=ki ka
 沖 獺 も (私)し も 海獺をすることも
- ソモ キ ノ アナン ルウエ ネ ア プ
 somo ki no an=an ruwe ne a p
 しない で 暮らす(私) こと だった が なかったのですが
- オラノ アリキキアン ペ ネ クス
 orano arikiki=an pe ne kusu
 それから 精を出す(私) もの だ から 私は働き者なので
- キムン イラマンテ アナクネ
 kimun iramante anakne
 山 獺 は 山獺を
- アキ コロ アナン アイネ
 a=ki kor an=an ayne
 (私)し て いる(私) うちに しつつ暮らしました。
- 200 タネ トウノイワン パ シラン ヒ クス
 tane tunoiwan pa siran hi kusu
 もう 何 年 時がたつ ので もう何年も経ったので
- オラ レプン イラマンテ アキ ルスイ ヒ クス
 ora repun iramante a=ki rusuy hi kusu
 こんど 沖 獺 (私)し たい ので 海獺をしたくなりました。
- アオナハ エウン アイェ ヒ カ
 a=onaha eun a=ye hi ka
 (私の)父 へ (私)言う ことも 父に言う
- アイラミカラ²⁴ ヒ クス
 a=iramikar hi kusu
 (私)不愉快にさせる ので 心配をかけるので
- アオナ エウン アイェ カ ソモ キ ノ
 a=ona eun a=ye ka somoki no
 (私の)父 へ (私)言い も しない で 父には言わずに
- 205 アコタヌ ウン オツカイポ シネン
 a=kotanu un okaypo sinen
 (私の)村 の 若い男 ひとり 私の村の若い男をひとり
- アシレン ヒネ トウン アネ ヒネ
 a=siren hine tun a=ne hine
 (私)伴っ て ふたり (私)になっ て 連れてふたりで
- オラ レプンアン ルウエ ネ アクス
 ora repun=an ruwe ne akusu
 こんど 沖獺に行く(私) こと だっ たところ 沖に出ました。すると

24 イラムカラ i-ramkar (人・を不愉快にさせる(?)) [田] と。

- オラノ レプ タ パイエアン イ カ
 orano rep ta paye=an _hi ka
 それから 沖 に 行く(私) こと も
 沖に行っても
- ネプ カ アヌカラ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=nukar ka somoki no
 何 も (私)見 も しない で
 何かあやしいものを見ることもなく
- 210 オラノ ヒナクン レプンアン コロ
 orano hinak un repun=an kor
 それから どこか の 沖へ行く(私) して
 どこかの沖へ行って
- アラパアン アイネ ヒナク タ アラパアン ルウエ
 arpa=an ayne hinak ta arpa=an ruwe
 行く(私) やがて どこ に 行く(私) こと
 どこかへ行っても
- ネプ カ アヌカルミ カ イサム ノ
 nep ka a=nukar _humi ka isam no
 何 も (私)見る 感じ も ない で
 何を見ることもなく
- パイエアン ルウエ ネ ア プ
 paye=an ruwe ne a p
 行く(私) こと だった が
 進んで行ったのでした。
- トオプ レプ タ パイエアン アクス
 toop rep ta paye=an akusu
 ずっと 沖 に 行く(私) したところ
 ずっと遙か遠く沖の方に行ったところ
- 215 ソモ カ²⁵ エネ アン ペ アヌカラ クナク
 somo ka ene an pe a=nukar kunak
 まさか(否定) そのような もの (私)見る と
 まさかそのようなものを見るとは
- アラム ア プ
 a=ramu a p
 (私)思っ た のに
 思わなかったのに
- ヘマンタ チプ トウママ ネノ カネ アン
 hemanta cip tumama neno kane an
 何か 舟 の胴体 のような
 何か舟の胴体のような
- ヘマンタ ネットパケ シリウコチャヤイケ ヘネ
 hemanta netopake sir'ukocayayke hene
 何か の胴体 たくさんとげが出ている でも
 何かの胴体にひどくたくさんとげが出た
- キ ペコロ アン ヘマンタ
 ki pekor an hemanta
 する よう な 何か
 かのような何か
- 220 アトウイ オツ タ シプシテツテク ヒネ
 atuy or_ ta sipustettek hine
 海 の所 に 浮かび上がっ て
 海から浮かび上がって来ました。

25 ソモ カ ~ クナク アラムアプ somo ka...kunak (kuni) a=ramu a p 「まさか～とは思わなかったが」という常套表現。

シク パルルケ ネ ヤツカ
sik parurke ne yakka
目 のはし で も

目のはしであっても

パラ ピシカン ネ ヤツカ フレ サランペ
par piskan ne yakka hure saranpe
口 のまわり で も 赤い 布

口のまわりであっても赤い布を

アコトウツカ アペコロ アン カムナシ
a=kotukka apekor an kamnasi
(人)つける かのよう な 化け物

つけたかのような化け物が

シプシテツテク ヒネ
sipustettek hine
浮かび上がっ て

浮かび上がって来て

225 オラノ イヘコテ イケサンパ クス ネ…
orano i=hekote i=kesanpa kusu ne…
こんど (私)のほうへ (私を)追いかける つもり だ

私を追いかけて来ました。

オラノ チブ アコシプシテツテク ヒネ
orano cip a=kosipustettek hine
それから 舟 (私)浮かび上がっ て

私に向かって浮かびあがって来て

オラノ キラアン シリ エネ アニ。
orano kira=an siri ene an _hi.
それから 逃げる(私) 様子 こうである

逃げたときの様子はこんなふうでした。

イオシ… イケサンパ ヒネ タネ タネ
i=os... i=kesanpa hine tane tane
(私)の後 (私を)追いかけて 今にも

私を追いかけて来てもう今にも

イオシコニ アンキ アンキ イキ ヒ タ
i=oskoni anki anki iki hi ta
(私に)追いつき そうに なる ときに

私に追いつきそうになったことに

230 キマテカン ヒ クス オラ
kimatek=an hi kusu ora
驚く(私) ので こんど

驚いて

カムイ シセレマクシテアン ヒ
kamuy sisermakuste=an hi
神 自分の背後で守る(私) こと

神が私の背後で守ってくれるように

アツ コロ カムイ²⁶ アシパウエテンケ²⁷ ヒネ
at kor kamuy a=sipawetenke hine
タコ の 神 (私)頼ん で

タコの神に頼んで

“ タネ アラウエンカムイ イケサンパ ワ
“ tane arwenkamuy i=kesanpa wa
今 とても悪い神 (私を)追いかけて

「今悪い神が私を追いかけて来て

26 [集大成]に収録されている話ではアッコロカムイ at-kor-kamuy (綱・をもつ・神)で「タコの神」としている。

27 シパウエテンケ si-pawetenke (自分・に指図する)は1項動詞なのでシパウエテンケアン sipawetenke=anとなるべきところだが、ア a= がついている。

- エネ イキアニ カ イサム クス
ene iki=an _hi ka isam kusu
どう する(私) 方法 も ない ので
どうしていいのかわからないのです。
- 235 アツ コロ カムイ イエランポキウエン ワ
at kor kamuy i=erampokiwen wa
タコ の 神 (私に)同情し て
タコの神よ、私を憐れんで
- イカオパシ ワ イコレ ヤク ピリカ”
ikaopas wa i=kore yak pirka”
かけつけ て (私に)くれたら いい
私を助けに来てください」
- セコロ アン ペ アイェ コロ
sekor an pe a=ye kor
と いう こと (私)言う ながら
と言いながら
- ネア アツ コロ カムイ アシパウエテンケ コロ
nea at kor kamuy a=sipawetenke kor
その タコ の 神 (私)頼み ながら
タコの神に助けを求めて
- オカアン ラポツケ
oka=an rapokke
いる(私) そのうちに
いると
- 240 ネ アツ コロ カムイ
ne at kor kamuy
その タコ の 神
そのタコの神が
- イカオパシ ワ ネ ノイネ
ikaopas wa ne noyne
かけつけ て である ようで
私を助けに来てくれたようで
- シウニン イメル クシ ヒ クス
siwnin imeru kus hi kusu
青い 稲妻 を通す だから
青い稲妻がさしたので
- ネ シウニン イメル ウトウルフ
ne siwnin imeru uturuhu
その 青い 稲妻 の間に
その青い稲妻の間に
- チプ アクシテ ヒネ キラアン。
cip a=kuste hine kira=an.
舟 (私)通し て 逃げる(私)
舟を通して逃げました。
- 245 ラポツケ ネ ウエンカムイ
rapokke ne wenkamuy
そのうちに その 悪い神
そのうちにその悪神に
- アツ コロ カムイ ネン カ カラ ワ ネ ヤ
at kor kamuy nen ka kar wa ne ya
タコ の 神 何 か し て だ か
タコの神が何かをしたのか

チウリキシプニプニ²⁸ ったべか

ciwrikisipunipuni

流れが高いところに自分を持ち上げる

流れに乗って押し上げられ

コロ ネ ヤッカ キラアン ヒネ アラキアン

kor ne yakka kira=an hine arki=an

ながら で も 逃げる(私) して 来る(私)

ながら逃げて

ルウエ ネ ア プ… アラキアン ヒネ

ruwe ne a p... arki=an hine

こと だった が 来る(私) して

来て

250 ラポッケ スイ イオカケ ネ ヤ

rapokke suy i=okake ne ya

そのうちに また (私の)後 で も

そのうちにまた私の後ろに

ウエンカムイ スイ シプシテツテク ヒネ

wenkamuy suy sipustettek hine

悪い神 また 浮かび上がった て

悪い神がまた浮かび上がって

オラノ スイ イケサンパ。

orano suy i=kesanpa.

こんど また (私に)追いかける

私を追いかけて来ました。

タネ ヤイウエンヌカラアン ペ ネ クス

tane yaywennukar=an pe ne kusu

もう 苦しむ(私) もの だ から

もう今は苦しくて

オラ スイ カムイ イシセレマクシテアン²⁹

ora suy kamuy i=sisermakuste=an

こんど また 神 (私の)背後で守る

また神に私の背後から守って

255 クニ アイェ コロ

kuni a=ye kor

ように (私)言いながら

くれるように頼みながら

“カンペ³⁰ コロ カムイ カムイ ラメトク

“kampe kor kamuy kamuy rametok

海波 の 神 神 勇者

「海波の神の勇者よ。

イカオパシ ワ イコレ ヤク ピリカ。

ikaopas wa i=kore yak pirka.

かけつけ て (私に)くれる と いい

私を助けに来てください。

ウエンカムイ イケサンパ ワ

wenkamuy i=kesanpa wa

悪い神 (私を)追いかけて

悪神が私を追いかけて来て

タネ アナクネ エネ イキアニ カ イサム。

tane anakne ene iki=an _hi ka isam.

今 は どう する(私) こと も ない

今はもうどうしようもないのです。

28 チウリキシプニプニ ciw-riki-si-punipuni (流れ・高いところ・自分・を持ち上げる) か。

29 上田トシさんはイ…アン i=…=an という人称接辞を使うことがある。

30 カンペ kampe 海づら、海波 [久373]。ちなみに『ウウエベケレ集大成』ではここはタミペクル カムイ ラメトク (シャチ神の勇者) となっている。

- 260 ヤイウエンヌカラン ルウエ ネ ナ”
yaywennukar=an ruwe ne na”
苦しむ(私) の だ よ
苦しんでいるのですよ」
- セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) ながら
と言いながら
- ネ カンペ コロ カムイ カムイ ラメトク
ne kampe kor kamuy kamuy rametok
その 海波 の 神 神の 勇者
その海波の神、神の勇者
- エウン イノンノイタケアン コロ
eun inonnoitak=an kor
に 祈る(私) ながら
に祈って
- オカアン… アン アイネ
oka=an... an ayne
いる(私) やがて
いると
- 265 ネア ウエンカムイ ネウン カ カムイ カラ ワ
nea wenkamuy neun ka kamuy kar wa
その 悪い神 どこへ か 神 を作って
その悪神に何かの神が何かをした
- ネ ノイネ ライ ワ アラパ フム
ne noyne ray wa arpa hum
である ようで 死ん で 行く 音
ようで(悪神が)死んでいく音が
- シリクムラクムラ フム アシ
sirkumrakumra hum as
ごうごうと 音 がする
ごうごうと響きました。
- オラノ イキロク アン アイネ
orano ikirok an ayne
こんど そうするもの ある したあげく
そうしているうちに
- ネ アコタヌ コパッケ ウン
ne a=kotanu kopakke un
その(私の)村 の方 へ
私の村の方に
- 270 アラキアン ルウエ エネ アニ。
arki=an ruwe ene an _hi.
行く(私) こと こうだった
たどりついたのでした。
- アコタヌ タ… カランケ
a=kotanu ta... karanke
(私の)村 の 近く
私の村の近くに
- アラキアン ルウエ ネ アクス
arki=an ruwe ne akusu
来る(私) こと だっ たところ
来たところ
- インネ ウタラ アトウイ ヘ…
inne utar atuy he…
大勢の 人たち 海 か
たくさんの人が海か…

ペトツ タ オカ イネ
pet or_ ta oka _hine
川 の所 に い て

川にいて

275 オンネクル ネ ヤ ペウレクル ネ ヤ
onnekur ne ya pewrekur ne ya
老人 で も 若者 で も

老人たちや若者たちや

インネ ウタラ オカ ヒ クス
inne utar oka hi kusu
大勢の 人たち いる ので

たくさんの人がいて

“ペウレ ウタラ アナクネ マク オシライエ ヤン
“pewre utar anakne mak osiraye yan
若い 人たち は 後ろ側 にさがり なさい

「若者たちはさがりなさい。

オンネクル パテク サオシライエ³¹ ワ
onnekur patek saosiraye wa
老人 だけ 前側に来 て

老人たちだけ前に来て

イコレ ヤン”
i=kore yan”
(私に)くだ さい

ください」

280 セコロ シエトクン
sekor sietok un
と 私の前 に

と言いました。

ハウシクルカオツテアン³² ルウエ ネ アクス
hawsikurkaotte=an ruwe ne akusu
声が自分の上でした(私) こと だっ たところ

私の上で声がしたところ

オンネクル ウタラ エムシ コロ カネ オカ ヘネ
onnekur utar emus kor kane oka hene
老人 たち 太刀 を持っ て いる でも

老人たちが太刀を持つなどして

ペツ サム タ エムシ アニ
pet sam ta emus ani
川 のそば で 太刀 で

川のほとりに、太刀で

ニウエンホリッパ³³ コロ オカ ヒ
niwenhorippapa kor oka hi
凶事の際の踏舞をし て いる こと

凶事の際の踏舞をしているのを

285 アヌカラ コロ
a=nukar kor
(私)見 ながら

見ました。

ネ ペタル タ ヤナン ア ヒ ネ ヤ
ne petaru ta yan=ana hi ne ya
その 水汲み場 に 上陸した(私) ことでも

その水汲み場に上陸したのか

31 オシライエ o-si-raye (そこに・自分・を移動させる)は、その直前の位置名詞によって訳が変わる。

32 ハウシクルカオツテ haw-si-kurka-otte (声・自分・の上・につける)で「声が自分の上でした」。

33 ニウエンホリッパ niwenhorippa は、何か災いがあったときに人々が列になり足を踏み鳴らしながらおこなう儀式のこと。その際成人男性は太刀を持ち、何度も前へ突き出す所作をする。

マク ネ アイェ フミ ネ ヤ
mak ne a=ye humi ne ya
どのように (私)言う 感じ だ か

人が何と言ったのか

アエランペウテク コロ オロワノ
a=erampewtek kor orowano
(私)わからない ながら それから

わからずにいました。そして

ネン イキアン アン フミ ネ ヤ
nen iki=an an humi ne ya
何 する(私) ある 感じ だ か

どうしたのか

290 アエランペウテク コロ アナン アイネ
a=erampewtek kor an=an ayne
(私)わからなく て いる(私) うちに

何もわからなくなりました。

シネ チュプ ヘ トウ チュプ ヘ
sine cup he tu cup he
1 月 か 2 月 か

そうしていて、ひと月かふた月か

ネノ ライ ヘ ネ ヤ シクヌアン フミ ネ ヤ
nenno ray he ne ya siknu=an humi ne ya
同じように 死ぬ か だ とか 生きる(私) 感じ だ とか

死んでいるのか生きているのか

アエランペウテク ノ アナン アイネ
a=erampewtek no an=an ayne
(私)わからない で いる(私) うちに

わからないでいて

シクマカカアン ヒネ インカラン ルウエ ネ ヒネ
sikmakaka=an hine inkar=an ruwe ne hine
目を開ける(私) して 見る(私) こと であって 目を開けて見ると

295 アオナハ アウヌフ イカオイキ コロ オカ。
a=onaha a=unuhu i=kaoyki kor oka.
(私の)父 (私の)母 (私を)看病し て いる

父や母が私の看病をしていました。

アウニ タ
a=uni ta
(私の)家 に

私の家に

オンネクル ウムレク ウタラ ネ ヤ オカ ヒネ
onnekur umurek utar ne ya oka hine
老人 夫婦 たち だ とかい て

老人たちがいて

イカオイキ コロ オカ ルウエ
ikaoyki kor oka ruwe
看病し て いる こと

私を看病している

エウン アヌカラ ルウエ ネ アクス
eun a=nukar ruwe ne akusu
そこへ (私)見る こと だっ たところ

のを見たのでした。

300 オラ アネトパケヘ カ
ora a=netopakehe ka
こんど (私の)体 も

私の身体は

エネ アイェ ヒ カ イサム ノ
ene a=ye hi ka isam no
どう (私)言う ことも しない で

何ともいいようもない

アオトピヒ カ イサム アラルフ ネ ヤツカ
a=otopihi ka isam a=raruhu ne yakka
(私の)髪 も ない (私の)眉毛 で も

髪もなく、眉毛も

アレキヒ ネ ヤツカ オピッタ イサム
a=rekihi ne yakka opitta isam
(私の)ひげ で も みんな ない

ひげも全部なくなっている

ウシケ ヤイエシカルンカアン イケ カ
uske yayasikarunka=an _hike ka
ところ 気がつかせる(私) しても

ところに気がついたのですが

305 オラ ヤイモイモイエアン カ エアイカブ ノ
ora yaymoymoye=an ka eaykap no
こんど 自分で動く(私) も できない で

動くこともできませんでした。

アミム³⁴ トウム ネ ヤツカ
a=mim tum ne yakka
(私の)肉 の中 で も

私の肉であっても

フポ ヘ キ ルウエ ネ ヤ
hupo he ki ruwe ne ya
腫れ物 でも できた の だ とか

できものができているのか

ムニン フポ ウシケ オポキン ムニン ネ ヤ
munin hupo uske opokin munin ne ya
腐る 腫れ物 できた所 次々に 腐る だ とか

腐ったできものが次々に腐って

ムニン ウシ カ
munin usi ka
腐った ところ も

腐ったところが

310 トウイ ネ ヤ キ コロ アナン ウシケ タ
tuy ne ya ki kor an=an uske ta
切れる だ とか して いる(私) ところ に

切れたりしているところで

ヤイエシカルカアニケ カ
yayasikaruka=an _hike ka
気がつかせる(私) しても

気がついたのですが

エネ イキアナン³⁵ ヒ カ
ene iki=an an hi ka
どう する(私) ことも

一体どうしたのか

アエランペウテク ノ アナン アイネ
a=erampewtek no an=an ayne
(私)わからない で いる(私) うちに

わからないでいました。

34 アミミ a=mimi(hi) と言おうとしたのではないか。

35 ここにアン an がある意味は不明。

- アオナ アコタヌ ウン ウタラ
a=ona a=kotanu un utar
(私の)父 (私の)村 の 人たちが
- 315 アエプ ルラパ ワ アラキパ コロ
aep rurapa wa arkipa kor
食べ物 を運ん で 来る と
- アオナ ウタラ スパ ワ イパロオツテ ネ ヤ
a=ona utar supa wa i=parootte ne ya
(私の)父 たち 料理し て (私の)口に入れる などして
- イカオイキ オンネ ウタラ キ コロ
ikaoyki onne utar ki kor
看病する 年寄り たち し て
- オカ ロク³⁶ イネ
oka rok _hine
いる 以前に して
- イネヘンパク パ カ
inehenpak pa ka
何 年 か
- 320 ネノ アナナイネ オラ イキアン アイネ
nenno an=an ayne ora iki=an ayne
同様に いる(私) うちに こんど する(私) うちに
- ヤイモイモイエエアシカイアン ラポッケ アナクネ
yaymoymoye'easkay=an rapokke anakne
自分で動くことができる(私) そのうち に
- アオナ ウタラ カ オピッタ オンネ ワ イサム オカ タ
a=ona utar ka opitta onne wa isam oka ta
(私の)父 たち も みんな 死ん で しまった 後 で
- ヤイモイモイエエアシカイアン ルウェ ネ コロカ
yaymoymoye'easkay=an ruwe ne korka
自分で動くことができる(私) こと だ けれど
- アカトウフ アナクネ アイヌ ネ
a=katuhu anakne aynu ne
(私の)姿 は 人間 である
- 325 アヌカラ ルウェ カ ソモ ネ。
a=nukar ruwe ka somo ne.
(私)見る こと も しない
- ネプ カ カムナシ³⁷ カツ ネノ アナン。
nep ka kamnasi kat nenno an=an.
何 かの 妖怪 姿 のように いる(私)

36 この rok は過去完了の助動詞 a の複数形。オカ ロク アイネ oka rok ayne (暮らし続けたあげく～した) というような場合に使う。ここでは、父や村の年寄りたちが何年か継続して看病し続けた結果、動けるようになった、という過去に継続して行われたことに視点を置いてロク rok を用いている。

37 カミアシ kamiyasi ともいうが、トシ氏はカムナシ kamnasi をよく使う。

アオトピ カ イサム アラルフ カ イサム。
a=otopi ka isam a=raruhuka isam.
 (私の)髪 も ない (私の)眉毛 も ない

私は髪もなく眉毛もありませんでした。

ネプ カ アレキヒ ポカ イサム ペ ネ クス
nep ka a=rekihi poka isam pe ne kusu
 何 も (私の)ひげ さえ ない もの だ から

髭さえもないので

フレ カポチャ³⁸ フレ サパ
hure kapoca hure sapa
 赤い カポチャ 赤い 頭

赤いカポチャ、赤い頭（と呼ばれるもの）が

330 アネ ヒネ アナン ペ ネ クス
a=ne hine an=an pe ne kusu
 (私)である して いる(私) もの だ から

私でした。なので

アイヌ ネ アナン ルウエ ネ ヤ
aynu ne an=an ruwe ne ya
 人間 で ある(私) の だ か

人間なのか何なのか

カムナシ ネ アナン ルウエ ネ ヤ
kamnasi ne an=an ruwe ne ya
 妖怪 で ある(私) の だ か

化け物なのか

アエランペウテク コロ アナナイネ
a=erampewtek kor an=an ayne
 (私)わからない で いる(私) うちに

わからない姿でいました。

ラポッケ オラ シネ アイヌ オラ イソイタク。
rapokke ora sine aynu ora isoytak.
 そのうちに こんど ある 人間 こんど 物語る

(ここからは) ひとりの人間が物語ります。

(ひとりの男性が物語る)

335 マク ネ ヒネ アプカシ アイヌ オルシペ
mak ne hine apkas aynu oruspe
 どう であって 歩く 人間の 話

[一体どうして通りかかった人間の話

ネ ヤ ケランペウテク コロカ³⁹
ne ya k=erampewtek korka
 だ か (私)わからない けれど

になるのかわからないけれど]

アプカサン ルウエ ネ アクス
apkas=an ruwe ne akusu
 歩く(私) こと だっ たところ

通りかかると

カムナシ カツ ネノ カネ アイヌ アヌカラ
kamnasi kat neno kane aynu a=nukar
 妖怪の 姿 のよう な 人間 (私)見る

化け物のような人間を見ました。

38 日本語「かぼちゃ」からの移入語。

39 マク ネ……コロカ mak ne...korka の部分は、上田氏による直前の語句に対する説明。この部分は日常会話の人称接辞ク ku=(私は)を使っている。

- オラ シクプイエ アヌカラ コロ
 ora sikpuye a=nukar kor
 こんど 目の穴 (私)見る と
 目を見ると
- 340 ニシパ シクプイエ コロ ペ ネ
 nispa sikpuye kor pe ne
 長者の 目の穴 を持つ もの である
 立派な長者の目をしていて
- オラ カトウフ アナクネ ネイ アコサマ⁽⁴⁰⁾ プ カ
 ora katuhu anakne ney a=kosama p ka
 こんど 姿 は どこ (私)比べる もの も
 姿はどこにも比較する者も
- エランペウテク ノ アン。
 erampewtek no an.
 わからない で いる
 いないような姿でした。
- アイヌ ヘ ヘマンタ アヌカラ ワ
 aynu he hemanta a=nukar wa
 人間 か 何か (私)見 て
 人間なのか何なのか、見ると
- イヨクヌレアン ペ ネ ワ
 iyokunnure=an pe ne wa
 驚きあきれ(私) もの であって
 気の毒でした。
- 345 マク ネ ワ エネ アン ルウエ ネ ヤ
 mak ne wa ene an ruwe ne ya
 どう して こう いう こと だ か
 一体どうしてそのような姿なのか
- アコウウエペケンヌ アクス
 a=kouwepekennu akusu
 (私)尋ね たところ
 私が尋ねると
- “ タプネ カネ アツパケ タ アナクネ
 “ tapne kane atpake ta anakne
 このように 最初 に は
 「このようなわけでことの発端は
- アユシニ チプ アカラ ワ… ア プ
 ayusni cip a=kar wa... a p
 ハリギリの 舟 (私)つくって だった が
 ハリギリの丸木舟をつくったのですが
- オラ パセ ヒ アエイワンケ カ
 ora pase hi a=eywanke ka
 こんど 重い こと (私)使い も
 重いので使わずに
- 350 ソモ キ ノ ランコ チプ パテク
 somo ki no ranko cip patek
 しない で カツラの 舟 ばかり
 カツラの舟ばかりを
- アエイワンケ ヒネ ネ ワ アン ペ
 a=eywanke hine ne wa an pe
 (私)使っ て そうで ある もの
 使っていました。それに

40 コサマ(真似る、そっくり、同じような、比べる、比較する)[萱]。ko-sama(共に真似る、それに対して表現する)[久453]。

ウェン サンペ コロ ワ ウコテレケパ シリ カ
 wen sampe kor wa ukoterkepa siri ka
 悪い 心 を持つ て 互いに跳ねる 様子 も

悪い心を抱いて跳ね上がる様子を

アヌカラ カ キ ア プ
 a=nukar ka ki a p
 (私)見 も し た が

見たりもしたのです。

オラ ネ アユシニ チプ
 ora ne ayusni cip
 こんど その ハリギリの 舟

そのハリギリの舟が

355 ウェン ケウトウム コロ ペ ネ アアン ヒネ
 wen kewtum kor pe ne aan hine
 悪い 心 を持つ もの だっ たのであっ て

悪い心を持つ者であったのです。

ネ ワ アン ペ クス
 ne wa an pe kusu
 そう で ある もの だから

そのために

エネ アカトウフ アナン ルウエ ネ クス
 ene a=katuhu an=an ruwe ne kusu
 こんな (私の)姿 になる(私) こと だ から

このような姿になったのです。だから

エイタサ テワノ オカ ウタラ アナクネ
 eytasa tewano oka utar anakne
 あまり これから 暮らす 人た ちは

あまりこれからの人たちは

アユシニ チプ カラパ ソモ キ ヤク ピリカ ナ”
 ayusni cip karpa somoki yak pirka na”
 ハリギリの 舟 をつくら ない と いい よ

ハリギリの舟をつくらないほうがいいですよ」

360 セコロ シネ アイヌ イソイタク
 sekor sine aynu isoytak
 と ある 人間 物語る

と、ひとりの男性が物語りました

セコン ネ。
 sekor_ ne.
 と さ

とさ。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。